

EdTech 導入補助金2021

令和2年度3次補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

効果報告レポート

【事業者名】

スパトレ株式会社

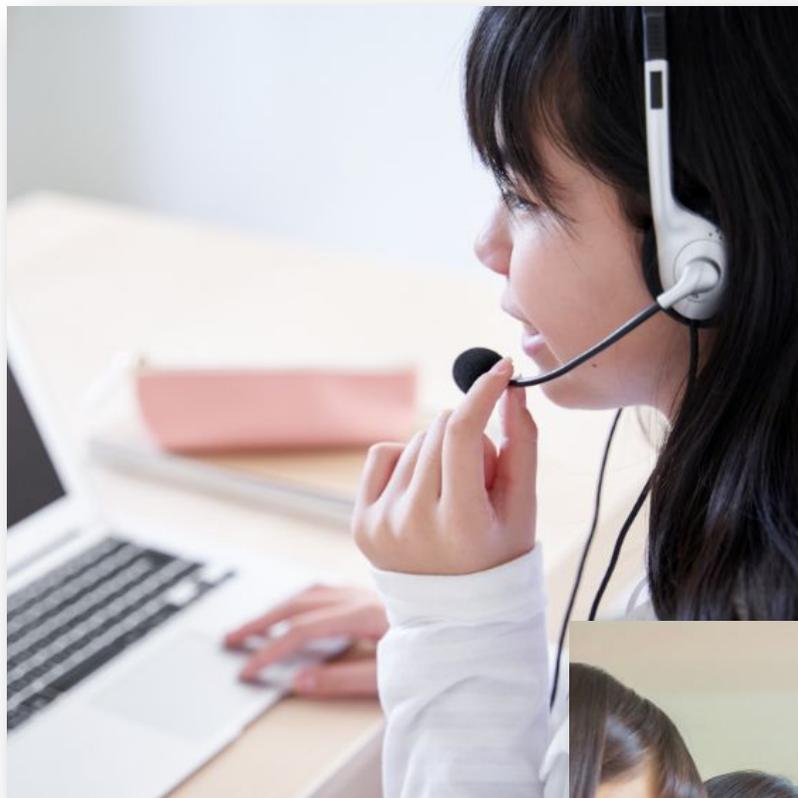
【ツール名】

スパトレ

【ツールの機能分類】

学習支援コンテンツ

2022年2月



● スパトレ

ツールの概要

英語の授業で活用することができるオンライン英語のプログラムです。教科書に完全に準拠し、スピーキングだけでなくライティングやリスニング等全てのパートで利用できます。生徒一人に対し一人の先生がオンラインで指導するマンツーマンまたはグループの授業をオンラインで受講できます。できる子には発展的な内容を、苦手な子には基礎を、興味がない子には関心を持たせるような活動を同時時間で同じユニットに対し行うことができます。(個別最適)

先生は様々な国出身で、多様な文化に触れることができます。事前に日本語の授業教案を確認し、ウェブサイト上から予約することができます。ライティングを提出すればネイティブの先生が添削を生徒個人に戻し、さらに指導計画に基づく5段階の評価を得ることができ指導負担の軽減につながります。

対応教科	英語	対象学年	小学校1年 小学校2年 小学校3年 小学校4年 小学校5年 小学校6年 中学校1年 中学校2年 中学校3年 高校1年 高校2年 高校3年
EdTechツール 対応機器等	1) PC 2) タブレット 3) スマートフォン		
学習指導要 領への準拠の 有無	1) している		

■ EdTech ツールの概要

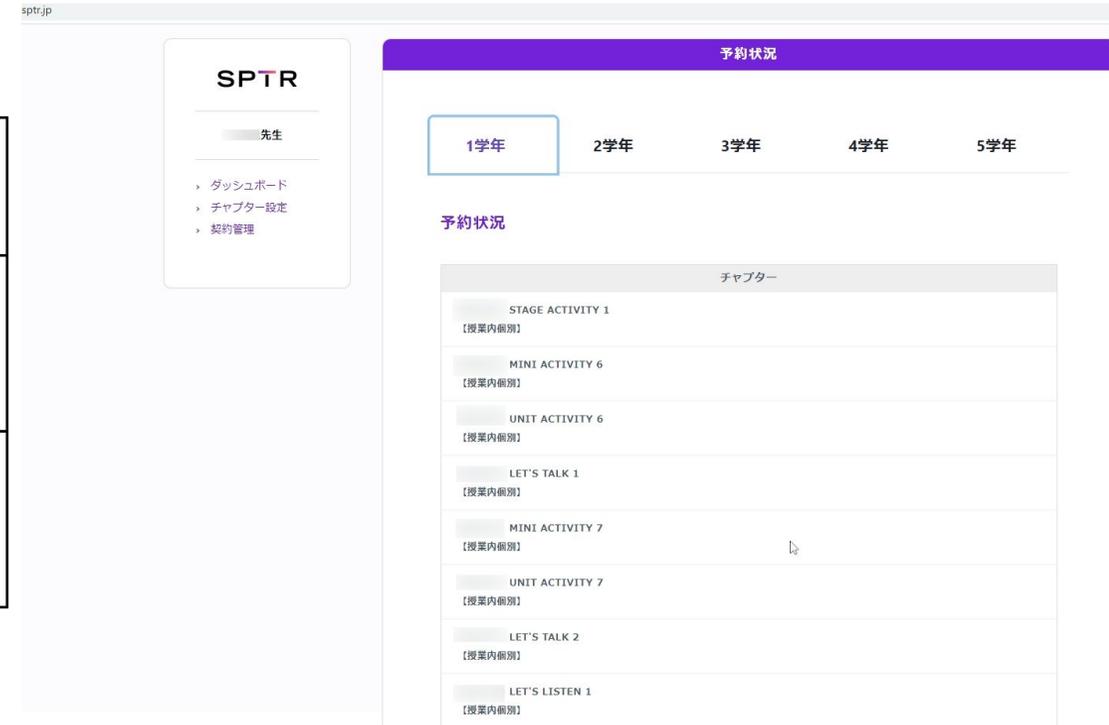
● スパトレ

ツールの効果

学習環境等に関連する効果	<ul style="list-style-type: none">• 時間や場所等の制約を受けず効率的な学習が提供できる• 一人一人の特性や進度に応じた学びを提供できる• 包摂的かつ公平で質の高い学びを提供できる
学力・資質等に関連する効果	<ul style="list-style-type: none">• 知識・技能の向上• 思考力・判断力・表現力の向上• 主体性・多様性・協調性の向上• 非認知能力の育成(学びに向かう意欲を高め、自学を習慣化)
業務効率・利便性等に関連する効果	<ul style="list-style-type: none">• 教職員の業務の効率化等による負荷軽減の実現• 指導の効率化• 教職員のスキル向上や経験不足の補填等により、児童・生徒への指導方法・授業内容を改善

ツールの費用

1ライセンス(1サービス)あたりの標準販売価格(単位:円/月)	4,900
---------------------------------	-------



* 図はツールUIの一例

■ 学校等教育機関の抱える課題

● 本事業で導入実証を行ったスパトレの強みによって解決・改善したい、導入先の学校等教育機関の児童・生徒の課題

- 英語が聞き取れない。
- 英語がうまく話せない・英語を使う場面が少ない。
- 英語で文章をうまく書けない。
- 英単語の量が不足している。
- 英語入試対策が不十分である。
- 外国人に対する緊張感と不安を持っている。

生徒の声

英語を上手く話せるかどうか不安でした。

相手の英語がしっかり聞くことができ、返事を返すことができるのか不安だった。

英単語をあまり知らない、つまりうまく話せない。

会話が続くかどうか不安だった。

しっかりと会話できるか不安になる。

ちゃんと聞き取れて正しく言えるか、という不安。

緊張してうまく話せるか不安だった。

調査対象:スパトレを利用している小学校6年生～中学2年生、339人、一部抜粋

■ 学校等教育機関の抱える課題

- **本事業で導入実証を行ったスパトレツールの強みによって解決・改善したい、導入先の学校等教育機関の教職員が抱える課題**

GIGAスクール時代の到来、オンライン授業の実施に伴い、どのようにオンライン資源を活用するか。

どのように学生に英語を現場で活用できるか。

宿題の添削・評価・管理をどのようにより効率的に行うか。

コロナ休校期間中、どのように学生に質の良い英語教育を提供するか。

スパトレを活用している様子 ——授業の流れについての説明と授業の風景——

マンツーマン授業・グループ授業の流れ

50分間内のスケジュール例（1時間目8:50~9:40の場合）

- 8:50~9:00（冒頭10分）
 - はじめに各生徒様が共有されたURLにアクセスし、Google Meetの画面を開いた状態にしておきます。
 - 教職員の皆様より生徒様へ今日の流れ等をご説明ください。
- 9:00~9:25（25分間）
 - 当社の講師が各ルーム（Google Meet）に現れ授業がスタートいたします。
- 9:25~9:40（15分間）
 - 授業終了までの15分間はふりかえりやまとめの時間としてご活用下さい。



■ 補助事業において実施したサポート内容



日本人サポート

もしものトラブルでも日本人が365日24時間サポート。お使いのデバイスのトラブル・授業の相談などお気軽にご相談いただけます。

スパトレの安定した授業提供体制

日本スタッフ(ヘルプデスク)

弊社には、日本国内においてリモートサポートスタッフが多数在籍しております。各授業中には必ず裏で複数名のサポートスタッフがリモートで待機しておりますので、トラブルが発生した場合も迅速な対応が可能です。

語彙力の増強

演習問題で記憶を定着

作文力の向上

英作文の目習とテスト

英語力強化のための4つの指標

スピードへの適応

シャドーイング・ディクテーション

表現力の拡大

ライティングの宿題と添削



実践的な講師陣

採用率1%の優秀な外国人トレーナーを中心に13カ国のトレーナーが指導。初心者の方が英語だけの会話でも進行できるように訓練を受けておりますので安心して学ぶ事ができます。



実際のご利用の様子

● 本事業においてスパトレを導入した学校等教育機関数、学校等設置者数、その概要説明

導入教育機関（設置者）

設置者数

24

学校数

124

南富良野町教育委員会

七宗町教育委員会

学校法人金光学園

西条市教育委員会

三田市教育委員会

岩美町教育委員会

五城目町教育委員会

八頭町教育委員会

学校法人睦学園

国立大学法人東京大学

学校法人浪商学園

能登町教育委員会

長井市教育委員会

阿南市教育委員会

紀美野町教育委員会

鳥取市教育委員会

学校法人滝学園

松江市教育委員会

積丹町教育委員会

あま市教育委員会

学校法人三浦学園

学校法人上宮学園

洲本市教育委員会

大館市教育委員会

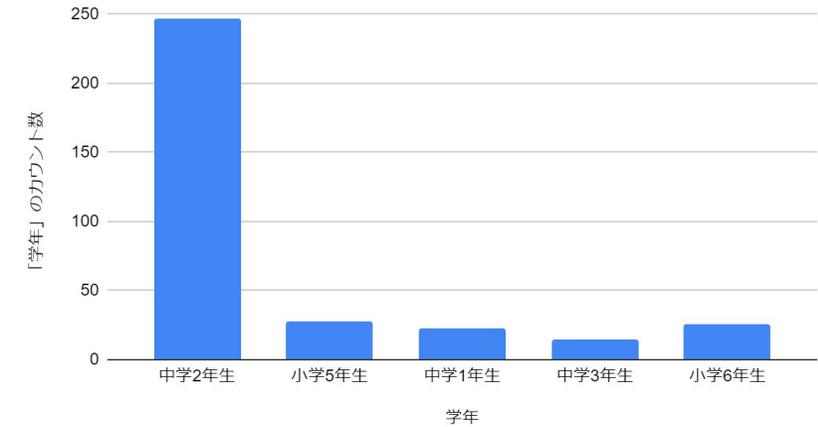
■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

調査対象: スパトレを利用している小学校6年生～中学2年生、339人

調査目的: 教育現場におけるスパトレの活用効果

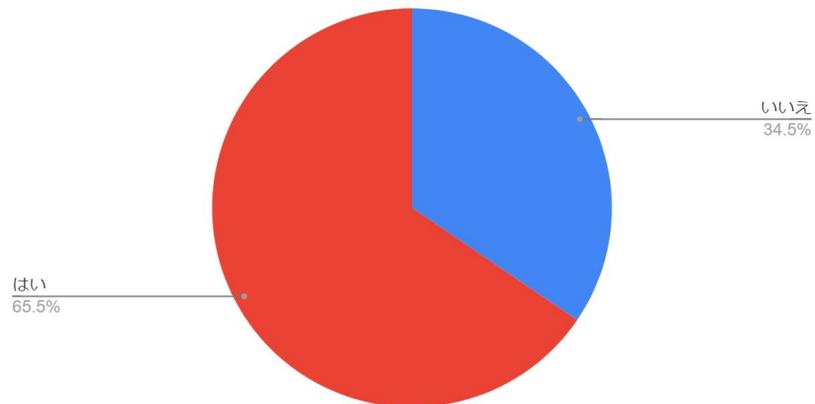
調査結果: **英語学習に対する不安の解消と勇気づけとしての一定の学習効果が観察できた。**

「学年」のカウント数

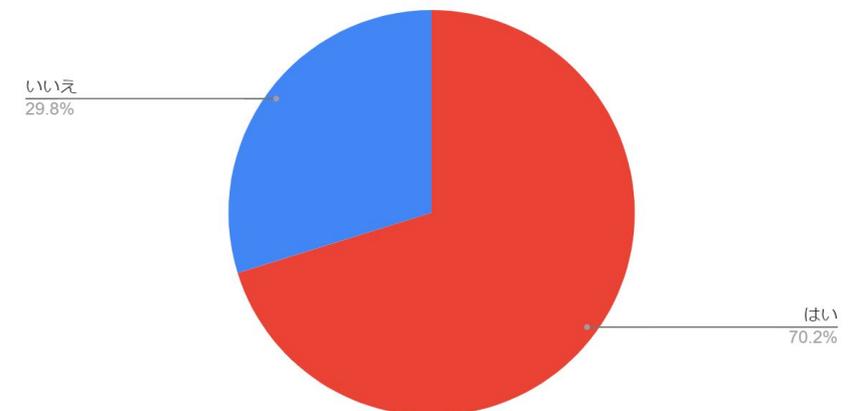


教育現場でのスパトレの活用により、英語学習に対する学生の不安は大幅に解消し、半分以上の学生は自信がつくようになった。

「オンライン英語授業を受講する前に不安はありましたか。」のカウント数



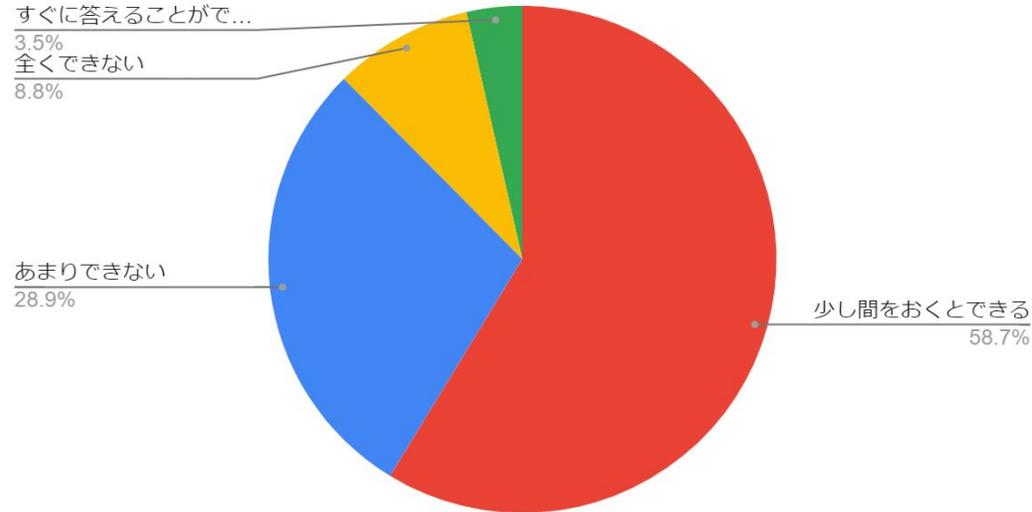
「外国人と1対1でコミュニケーションを図ることに自信はつきましたか。」のカウント数



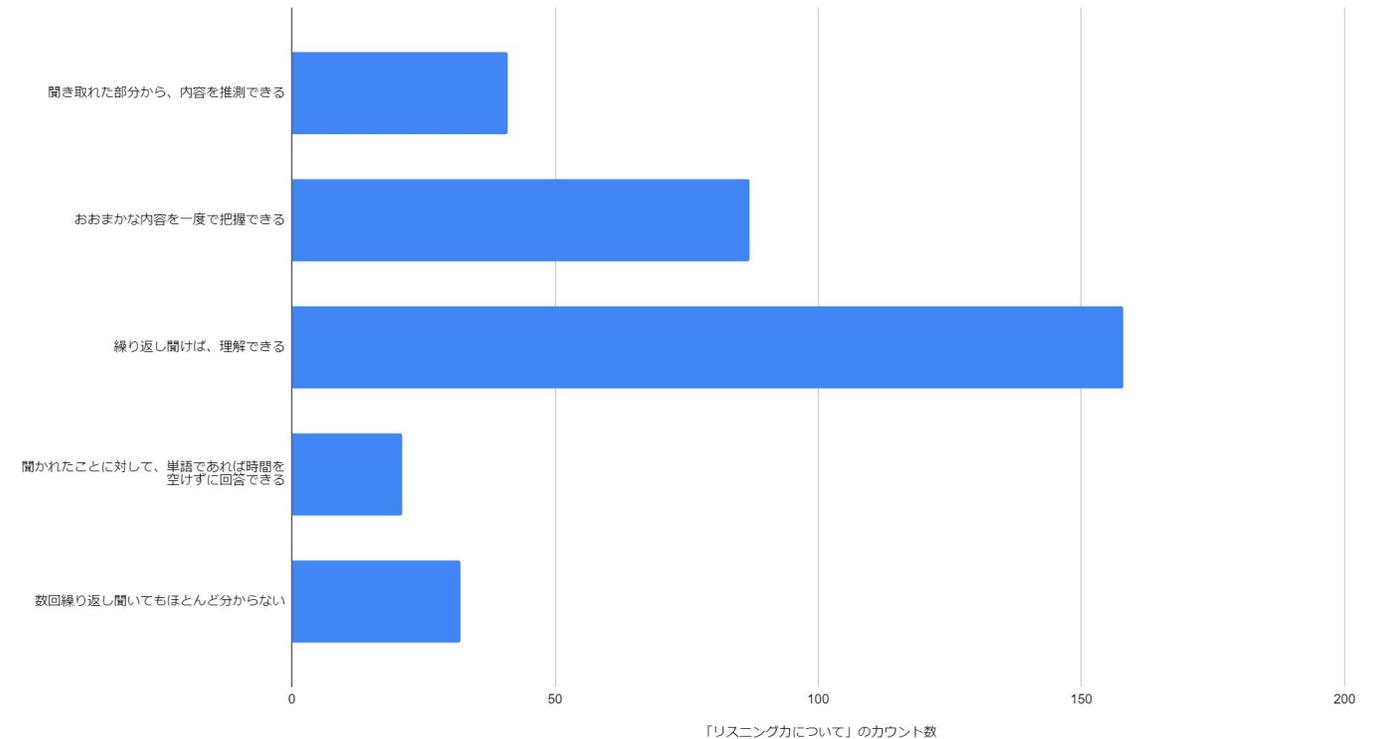
■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

スパトレの活用によって、英語のやり取りの能力(瞬発力)、英語でのコミュニケーション力、リスニング力、といった語学力が上がったと考えられる。

「【英語のやり取り(瞬発力)】相手の問いかけに対して、間を置かずに答えることができ...

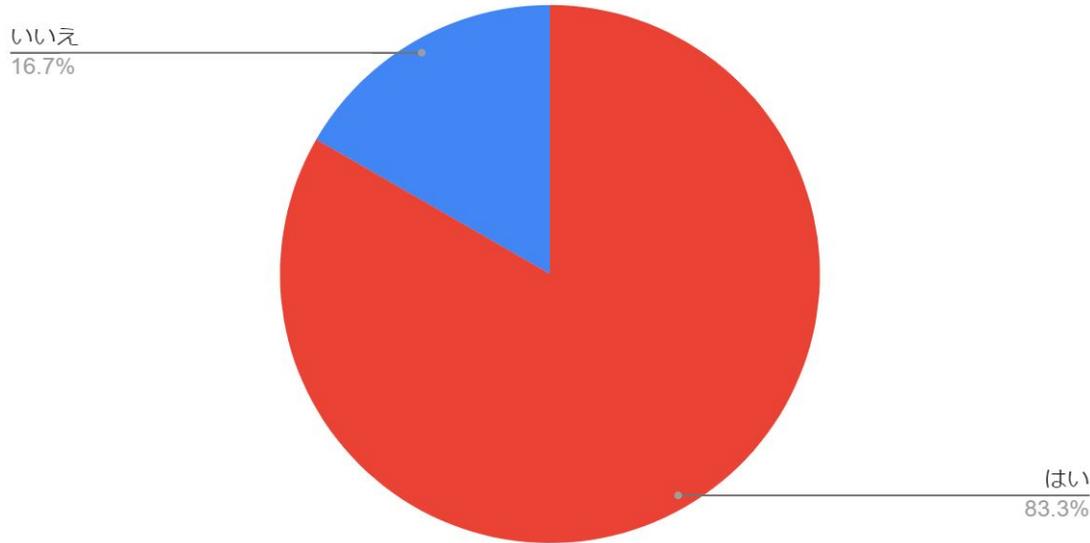


「リスニング力について」のカウント数



英語教師からの視点から、スパトレの活用によって、英語教育に対する学生たちのやる気が上がった。

「オンライン英語授業を導入して、生徒の皆様のやる気に変化はありましたか。」のカウント数



教職員の皆様からのコメント

またやってみたくないと聞くと、数名の生徒は手をあげていました

また、実践したいという声があがっている

会話の練習の際に自分の気持ちを必死に伝えようとする姿が見られました。

これまで、外国語で表現することに抵抗があった児童が、楽しみながら会話をしていた。授業後に感想を聞くと、「またやりたい！もっとしたい！」と反応する児童がほとんどであった。

初めてだったので、不安がっていました（こちら側の準備の問題かと...）慣れてくれば楽しんでできると思います。

授業後に個人的にとったアンケートで8割程度の生徒が「英語がもっと話せるようになりたい。」と答えた。

- ・ずっと英語が苦手だった生徒が、「英語が楽しい」と言ってくれたこと。
- ・回を重ねるごとに、手ごたえを感じるというようなことを言っていた。

「自分から積極的に話せなかったのが、使える表現を増やして次回につなげたい。」と言った振り返りが多くありました。

楽しかった、と言っていました。教科書だけでなく、普通の会話ができれば良かった、とも言っていました。

生で外国の方と英会話することは、児童にとって刺激になったようです。また、もっと英語を学んで。英語を使って話してみたいと意欲をもっていました。

習った事を実践する場として、会話が成り立ったという達成感も感じている。

英語を使う必然性ができて、授業での英語を使った会話練習などを必死に取り組む生徒が増えた。

今まで授業中英語を話さなかった生徒が自然と話しているのが、とてもよかったです。

楽しかった、またやりたいと言っていた生徒がいた

緊張するけれど話をするのが楽しいという生徒の感想や
また、やってみたくらいという言葉があった。

● スパトレ使用前後の児童・生徒・教職員等のコメント・感想等

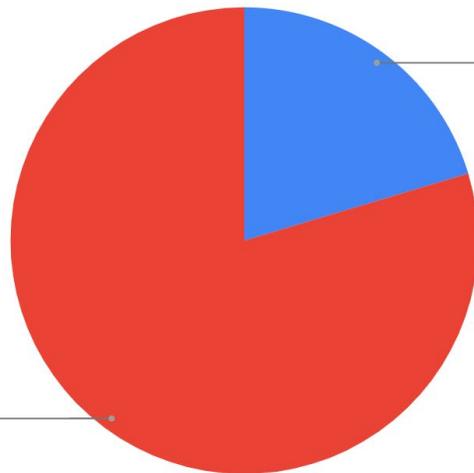
スパトレを使った学生側の感想によると、

- ・「またオンライン英語授業を受講したい」と答えた学生は全体の三分の二を超えている。
- ・「トレーナーの雰囲気は、明るく親しみやすい印象でした」と答えた学生はほとんどである。

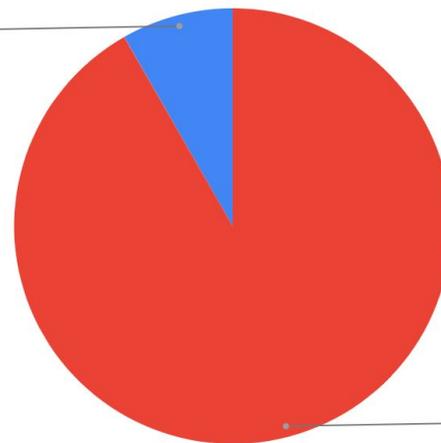
スパトレの価格に対し、
教師の過半数は満足している。

「当社のオンライン英会話の価格にご満足いただけましたでしょうか。」のカウン
ト数

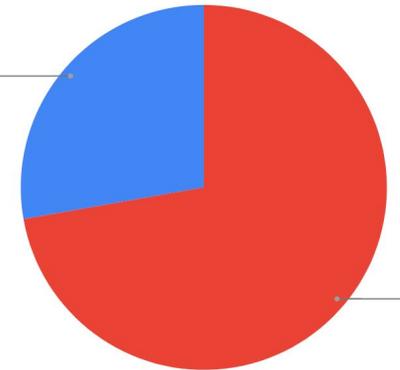
「またオンライン英語授業を受講したいですか」のカウン
ト数



「トレーナーの雰囲気は、明るく親しみやすい印象でしたか。」のカウン
ト数



いいえ
27.8%



はい
72.2%

はい
91.7%

● スパトレの導入・運用における課題

課題と改善策:

- 音声の質の向上及び接続安定性の向上:いかに更なる高質の音声を提供できるか。いかに更なる安定な接続を提供できるか。
 - 毎日のインターネットスピードテストチェックに加えて、音声テストを定期的を実施する
- 既存教科書との補完性と難易度の調整:いかに難易度を調整し、既存の教科書を補完しつつ、更なる高質なオンライン授業を提供できるか。
 - 外国人とのコミュニケーションの価値を高めるために、単なるコミュニケーションドリルではなく、オーセンティックなコミュニケーションを含む活動を実施したいと、考えていたが、現場の実態を踏まえて実施回数に応じてロックステップに難易度を低めていくような工夫が必要だということがわかった。当件を踏まえて、弊社講師向けのトレーニングの機会を設定し、指導を行った

■ 会社概要

会社名	スパトレ株式会社
代表者	代表取締役 向井 麻里絵
取締役	CTO 角田 惇 コンテンツ開発 白井恭弘(教授)
所在地	東京都千代田区内神田1-4-10 ATS大手町ビル5階
創業	2018年5月
ウェブサイト	https://sptr.jp (一般向け) https://school.sptr.jp (学校向け) https://sptr.jp/newhorizon/ (NEW HORIZON準拠)